

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 2 年 11 月 19 日 (2020.11.19)

【公表番号】特表 2019-530535 (P2019-530535A)  
 【公表日】令和 1 年 10 月 24 日 (2019.10.24)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-043  
 【出願番号】特願 2019-520087 (P2019-520087)  
 【国際特許分類】

A 4 6 B 9/02 (2006.01)

A 4 6 B 1/00 (2006.01)

【F I】

A 4 6 B 9/02

A 4 6 B 1/00

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 6 日 (2020.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

細長く且つ長手方向軸を有し、複数のブラシ毛からなる細長い配列を含んでおり、前記配列が前記長手方向軸と実質的に平行な長手方向軸を有し、前記複数のブラシ毛のそれぞれがベースから自由端まで延びている逆毛ブラシであって、

前記複数のブラシ毛からなる前記配列は少なくとも 2 つの長さの複数のブラシ毛を含んでおり、第 1 の長さの前記複数のブラシ毛は、第 2 の長さの前記複数のブラシ毛の長さの半分未満であり、

前記第 2 の長さの前記複数のブラシ毛の少なくとも何本か又は全部は、前記ベースからテーパのついた相対的に幅の広い第 1 の部分と、前記第 1 の部分から前記自由端まで延びる相対的に幅の狭い第 2 の部分とを含み、

前記第 1 の長さの前記ブラシ毛の少なくとも何本か又は全部は、前記ベースからテーパのついた相対的に幅の広い第 1 の部分と、前記第 1 の部分から前記自由端まで延びる相対的に幅の狭い第 2 の部分とを含んでいないことを特徴とする逆毛ブラシ。

【請求項 2】

前記複数のブラシ毛は間隔を介してオフセットされた 2 以上の列に配置され、前記複数の列の複数の中心線は、一つの前記列の前記複数のブラシ毛の一部も、あるいは実質的に一部も、隣接する前記列の中の隣接する前記複数のブラシ毛の間にも延びておらず、及び / 又は前記複数の列に対して直角に見て、前記複数のブラシ毛の幅、あるいは実質的に全ての前記ブラシ毛の幅は、隣接する 1 つの列の中の隣接する前記複数のブラシ毛の間の間隔よりも小さくて、隣接する 1 つの前記列の中の前記複数のブラシ毛の間の間隔が塞がれていないか、実質的に塞がれていないようになっている請求項 1 の逆毛ブラシ。

【請求項 3】

前記第 1 の長さの前記複数のブラシ毛の少なくとも何本か又は全部は、前記ベースから前記自由端まで、僅かにテーパがついており、あるいは実質的に全長にわたって実質的に同じ太さである請求項 1 または 2 に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 4】

前記複数のブラシ毛は間隔を介してオフセットされた 2 以上の列に配置されており、前

記第 1 の長さの複数のブラシ毛の 1 本の列は前記第 2 の長さの複数のブラシ毛の 1 本の列に隣接している請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 5】

前記配列の中の前記複数のブラシ毛からなる前記複数の列の何本か又は全ては、第 1 の長さの列と第 2 の長さの列の間で交番している請求項 4 に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 6】

前記第 1 の長さの前記複数のブラシ毛は長さ 10mm 以下であり、  
前記第 2 の長さの前記複数のブラシ毛は少なくとも長さ 25mm である請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 7】

長手方向の間隙が隣接する前記複数のブラシ毛の間に設けられており、前記複数の第 1 のブラシ毛の複数の前記自由端の高さにおける隣接する前記複数のブラシ毛の間の長手方向の間隙は 1mm 以下であり、及び / 又は前記ベースにおける隣接する前記複数のブラシ毛の間の長手方向の間隙は 0.75mm 以下である請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 8】

隣接する前記第 2 のブラシ毛の少なくとも何本か又は全ての中心点の間の長手方向の間隙は 3mm 以上であり、及び / 又は 5mm を超えず、及び / 又は隣接する前記第 2 のブラシ毛の中心点の間の横方向の間隙は 7mm 以上であり、及び / 又は 5mm を超えない請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 9】

前記第 1 及び第 2 の部分を有する前記複数のブラシ毛の幅は、前記ベースと前記自由端との間で不連続的に変化し、且つ前記複数のブラシ毛の前記第 1 の部分内で、前記複数のブラシ毛の幅は、同じ長さで幅の変化とを有し均一のテーパがついている前記ブラシ毛のテーパの角度よりも大きい角度でテーパを持っている請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 10】

前記第 1 及び第 2 の部分を有する前記複数のブラシ毛のテーパの程度は、前記複数のブラシ毛の前記第 1 の部分と前記第 2 の部分との間の境界において急に変化する請求項 9 に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 11】

前記第 1 及び第 2 の部分を有する前記複数のブラシ毛の前記第 1 の部分の少なくともいくつかが又は全ては、少なくとも一部又は実質的に全長にわたって非円形の横断面を有し、前記非円形の断面は楕円形である請求項 1 乃至 10 のいずれか 1 項に記載の逆毛ブラシ。

。

【請求項 12】

前記第 1 の長さの前記複数のブラシ毛は実質的に全長にわたって卵形の横断面を有し、前記卵形の長軸は前記ブラシの前記長手方向軸と平行である請求項 11 に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 13】

前記第 1 及び第 2 の部分を有する前記複数のブラシ毛の前記第 2 の部分の長さは、前記第 1 の部分の長さの少なくとも 4 分の 3 であり、及び / 又は前記第 1 の部分の長さは、前記第 2 の部分の長さの少なくとも 4 分の 3 であり、

前記第 2 の長さの前記複数のブラシ毛の何本か又は全ては、前記第 1 及び第 2 の部分を含み、前記第 2 の部分は前記第 1 のブラシ毛の少なくとも 1.5 倍の長さである請求項 1 乃至 12 のいずれか 1 項に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 14】

少なくとも 5 本のブラシ毛からなる少なくとも 3 本以上 8 本以下の列が存在し、

100 本以下の前記第 2 のブラシ毛及び 100 本以下の前記第 1 のブラシ毛が存在し、前記複数のブラシ毛は、前記ブラシの長手方向軸に沿った長軸を有する複数のブラシ毛

の長方形の配列を形成する請求項 1 乃至 1 3 のいずれか 1 項に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 1 5】

前記第 1 の長さの前記複数のブラシ毛と前記第 2 の長さの前記複数のブラシ毛は、前記長手方向軸に直角な方向から見ると、同様の幅及び / 又は形状を有し、

前記長手方向軸に沿って見ると、似ていない幅及び / 又は形状を有する請求項 1 乃至 1 4 のいずれか 1 項に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 1 6】

前記第 2 の長さの前記ブラシ毛は、前記第 1 の長さの前記複数のブラシ毛の少なくとも 2 倍の幅を有する請求項 1 5 に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 1 7】

前記第 2 の長さの前記複数のブラシ毛は、前記ベースから少なくとも前記第 1 の長さの前記複数のブラシ毛の前記自由端の高さまで、前記ブラシの前記長手方向軸を横断する方向について実質的に剛性を有する請求項 1 乃至 1 6 のいずれか 1 項に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 1 8】

前記第 1 の長さの前記複数のブラシ毛は実質的に柔軟性があり、少なくとも前記第 2 の長さの前記複数のブラシ毛は前記第 1 の長さの前記複数のブラシ毛の前記自由端の高さよりも高い部分が実質的に柔軟である請求項 1 7 に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 1 9】

前記複数のブラシ毛からなる前記細長い配列はその幅の少なくとも 4 倍の長さであり、前記配列の幅は 20mm 未満であり、

前記配列の長さは少なくとも 60mm である請求項 1 乃至 1 8 のいずれか 1 項に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 2 0】

頭髮の区分けと、前記ブラシを使用して頭皮に向かったの少なくとも頭髮の一部のブラッシングとを含み、

前記第 1 の長さの前記複数のブラシ毛と前記第 2 の長さの前記複数のブラシ毛を使用し

、続く逆毛セットされた頭髮の平坦化、及び / 又は前記第 2 の長さのブラシ毛を使用した逆毛セットされた頭髮の部分的な解きほぐしを含む請求項 1 乃至 1 9 のいずれか 1 項に記載の逆毛ブラシを用いた逆毛セット方法。